プロジ	ジェクト名		にぎわい創	出プロジェクト		実施期間	H23∼H26	テーマ	地域産業	美の育成	新規・継	続の区分	新規
地域におけ	る現状、課題及び	び住民ニーズ	金属業におい 10年の年間観 こうした状	ても大規模な景 光入込客数2207 況から抜け出し	☆気変動により不好 万人をピークに、 、地域経済に活力	安定な状況下 現在は200万 りを与えるた	や個人所得の低下な におかれているとと 人を割るところまで めの各産業における 地域産業の活性化!	もに、観光業 減少している 総合的な施策	においてもjo など、本市に が求められて	近年の少子们 における産業 ている。	とや旅行ニー 美は総じて厳	ズの多様化 しい状況で	等により平成 ある。
プロ:	ジェクトの目的及:	び概要	業振興施策の		と(人材、来訪ね		め、地域産業の活性 産業、地域資源)・						
			総事業費	赴 (千円)		290, 215 本年	F度事業費(千円)		53, 956	交付金額	〔千円)		24, 300
					プロジェクトを構成す	る事業の平成2	23年度事業実績(出来高	高数値等)					
事業分類		事業名		事業種別		事	事業概要 主な実績(出来高数値					数值等)	
	人材育成緊急	材育成緊急対策事業			業 生産量の減少などで事業縮小を余儀なくされた中小企業の従 業員向けに教育訓練を実施する。				生産量の減少などで事業縮小を余儀なくされた中小企業の名業員向けに教育訓練を実施した。(延べ504人)				中小企業の従
	地域雇用環境整備特別対策事業			関連事業	離職を余儀なくされた非正規労働者、中高年齢者等の失業者 に対して、次の雇用までの短期の雇用・就業機会を提供す る。				離職を余儀なに対して、2 た。 (87人)	欠の雇用まで			者等の失業者 会を提供し
	くらしとしご	らしとしごと寄り添い支援事業					課題を抱えた市民を ごと』の寄り添い支			『くらし』と	こ『しごと』	の寄り添い	を包括的に支 支援センター
	障害者短期職	場実習委託事	事業	父勺对家事来	職場実習を実施し	し、就労能力			通所授産施言 職場実習を写				ける短期間の (4人)
市町村	地域自立支援	協議会運営引	鱼化事業	関連事業	動を支援する。		、協議会委員のスキ		キルアップ	舌動を支援し	た。		議会委員のス
	京丹後ツーリ			交付対象事業	かしたグリーン	ソーリズムや	識してもらい、豊か ブルーツーリズムを	推進する。	講演会を実施	もし、新たに	こ5件の農家流	魚家民宿が閉	
	子ども農山漁 事業	村交流プロシ	ジェクト推進	交付対象事業	を支援する。		農山漁村での長期宿		対象としたる	交流事業を企	È画・検討し	た。	部の子どもを
	久美浜総合交	流販売施設		交付対象事業	置する。		を促進するため、案		板及び駐車場	場看板を作り	보した。		道の駅案内看
	農業技術者協	議会活動事	<u> </u>	関連事業	農地保有・利用を を行う。	合理化、担い	手の確保・育成など	:関する活動	認定農業者積の推進によ				用地の利用集 。
	農産物流通戦			関連事業	典学が得の向上なりでし、大声で生命される典帝伽の済済/			文案を行う。	ありる味超の登理、				立案を行っ
	蒲井シーサイ 事業	ドクラインス	ガルテン運営	関連事業	農村地域の活性化 ルテン(市民農園		流を推進するため、 営する。	クラインガ	農村地域の流 ルテン(市民			進するため	、クラインガ

プロシ	ジェクト名	にぎわい創	出プロジェクト		実施期間	H23∼H26	テーマ	地域産業の育成	新規・継続の区分	新規
	森林ボランテ	ィア事業	交付対象事業		、美浜町箱石地区	-制度を創設し市月 の松林を再生する		久美浜町箱石地区で実施 林を再生する活動に対し 加者83人)	もされた、防潮、防風機 ン、原材料費等の支援を	能能を失った松 行った。(参
	猪・鹿肉処理	等事業	関連事業	て活用するため る。	が猪・鹿肉処理が	vシ・シカの肉を地 記設において食肉が	工処理す	有害鳥獣として捕獲しため、京たんご ぼたん・理し、観光客の誘致や地	・もみじ比治の里におい 也域振興を図った。(41	で食肉加工処 10頭)
	シカ被害防止	対策事業	交付対象事業	拡大するシカに のシカ捕獲(駆	こよる農作物被害 図除)を猟友会に	ffを防止するため、 □委託する。	狩猟期間中	拡大するシカによる農作のシカ捕獲(駆除)を到)、狩猟期間中
	有害鳥獣捕獲	委託事業	関連事業		が 猟友会に委託す もした広域捕獲も	⁻ るとともに、丹後 実施する。	62市2町及び	有害鳥獣駆除を猟友会は兵庫県とが連携した広場		後2市2町及び
	魚食普及活動	事業	交付対象事業	地元水産物の普 小学生魚料理教		図るため、食育 <i>0</i>)一環として	地元水産物の普及・消費の学生魚料理教室を開催		の一環として
	クロアワビ養	殖事業	交付対象事業	新たな特産品つ ビの陸上養殖試		久美浜町旭漁港内	アクロアワ	新たな特産品づくりを& ビの陸上養殖試験を行っ		内でクロアワ
	起業アイデア	コンペ開催事業	交付対象事業		:起業アイデア=	協力により、本市 コンペティションを		京都工芸繊維大学等との資源を活用した起業アイ		
市町村	販路開拓コーディネーター招聘事業		交付対象事業		都市部との販路	月拓の実績を持つコ 各開拓や、"売れる		食材マッチングセミナ- を行った。	- (3回) など生産者の!	販路開拓支援
実施事業	経営講座・経	営相談会開催事業	関連事業		ともに、事業者	ないことにより経営 が個々の経営課題に		市内事業者個々の課題角 行うため、中小企業診断 た。(相談件数5件)		
	企業·工場誘致	效フェア出展事業	交付対象事業	催される「企業	美・工場誘致フェ	<u>∶</u> め、東京及び大阪 ∶ア」へ出展する。		市内への企業立地を促進 械要素技術展などへ出展	美した。	
	ちりめん卒業	証書製作事業	交付対象事業	市内中学生に授 する。	受与する卒業証書	書を丹後ちりめんσ)生地で製作	市内中学生に授与するな	卒業証書を丹後ちりめん	の生地で製作
	丹後ちりめん	ユニホーム着用事業	関連事業	丹後ちりめんコ 等へ貸与する。	Lニホームを市聙	t員が着用するとと	:もに、市民	丹後ちりめんユニホー <i>』</i> した。	ムを市職員が着用し、市	i民等へも貸与
	遊海水浴場ト	イレ整備事業	交付対象事業	老朽化が著しい 行う。	い遊海水浴場のト	イレ改修に向けた	:設計業務を	老朽化が著しい遊海水浴 行った。	浴場のトイレ改修に向け	た設計業務を
	京丹後市ホー 供事業	ムページ翻訳サービス提	交付対象事業	提供する。		目語、韓国語の翻訳		市のホームページで英語 提供した。	吾、中国語、韓国語の翻	訳サービスを
	京丹後ツリー	ハウス運営事業	関連事業	井・旭地域のみ	♪ならず本市の交	リーハウスを全国に を流人口の増加につ	つなげる。	自然と環境をテーマとし		
	海水浴場等環	境保全事業	関連事業	う。		:め、海水浴場の弱		海水浴場の環境美化を行図った。(13か所)		
	農村6次産業技	推進事業	交付対象事業	推進するための	D調査、企画及び	が研究を行う。		専門委員やアドバイザー を推進するための調査、	企画及び研究を行った	- 0
	京丹後ふるさ	と応援団運営事業	交付対象事業			と応援団の活動を での情報を広く発信		京丹後ふるさと応援団員 魅力や京丹後ブランドの		、京丹後市の

プロ	ジェクト名	にぎわい創	出プロジェクト	`	実施期間	H23∼H26	テーマ	地域産業の育成	新規・継続の区分	新規
	水稲有機栽培	試験研究事業	交付対象事業	ブランドカの強 の試験研究を行		確立をめざし、水	稲有機栽培	久美浜町女布のトライプ 験研究を行った。	アル農地において、水稲	4有機栽培の試
	丹後新分野進 事業	出研究会コーディネート	関連事業	丹後新分野進出 野」を絞り込み 作を実践する。	研究会の活動を シーズ・ニース	さらに充実するた 、の交流とマッチン	:め、「新分 ›グ、開発試	新分野展開推進セミナー を開催する、丹後新分野		
	中小企業緊急	雇用安定助成金	関連事業			∵余儀なくされた中 ∵場合の休業手当等		生産量の減少などで事業 雇用者を一時的に休業等 成した。(468件)		
	職業能力向上	支援補助金	交付対象事業	めに必要な知識 用を支援する。	や技能等の習得	日指す労働者や、 身を目指す求職者に	対し研修費	知識や技能等のスキルで めに必要な知識や技能等 用を支援した。(支援者	等の習得を目指す求職者 者数延べ90人)	背に対し研修費
	地域雇用創造	推進事業	関連事業	促進に関する取	り組みを行う。	雇用拡大、人材育		観光業、農林水産業等に 促進に関する取り組みる	を行った。(雇用創出数	(62人)
	ものづくり基	礎技術習得研修事業	関連事業	離職者・求職者 得研修を開催す		機械金属加工の基礎	的な技術習	離職者・求職者を対象と 得研修を開催した。(受		は礎的な技術習
	障害者職場実	習促進事業補助金	交付対象事業	障害者が事業所で職場体験実習をした場合、関わった福祉施設と受け入れた事業所に奨励金を支給し、障害者の就労を支援する。 ハローワークの特定求職者雇用開発助成事業を受け、引き続				2人の就労実習を受け入 設に奨励金を支給し、降		
住民 協働	障害者雇用促	進事業補助金	交付対象事業			開発助成事業を受 ≩励金を支給し、職		特定求職者雇用開発助成で奨励金を支給し、職場		-1企業に対し
事業	元気な農村地 助金	域づくりイベント事業補	交付対象事業	市内で開催され	る農業イベント	・を支援する。		地産地消や販路拡大を目 支援し、農産物の販売や		
	都市農村交流	支援事業補助金	交付対象事業	セミナーの開催	などを支援する	ิ 協議会が行う農家漁 o。		農山漁村体験型旅行協調 討、モニターツアーの企	企画などを支援した。	
	農業経営者会	議支援事業補助金	関連事業	営者会議の活動	を支援する。	い手農業者で組織		京丹後まるごと食育のE催、アグリフードEXPOへ	への参加などを支援した	- 0
	狩猟免許取得	奨励補助金	交付対象事業			新規に狩猟免許を 解経費を補助する。	取得する猟	有害鳥獣駆除を強化する大会の捕獲班加入者に対		
	猟銃所持許可	更新手数料補助金	交付対象事業			(友会の捕獲班員の 「更新経費を補助す		有害鳥獣捕獲班員の減り可更新経費を補助した。)、猟銃所持許
	里山環境整備	事業補助金	交付対象事業	して補助する。)、竹の伐採、整理		里山に侵入した竹林の塾 助金交付を行い里山環境		
	有害鳥獣防除	施設設置事業補助金	関連事業	鳥獣害対策とし 施設設置費を支		『行う電気柵、金網	柵等の防除	電気柵、金網柵等の防隙が、農業団体への直接3		
	地域サポート	カウ事業補助金	関連事業		て、耕作放棄地	に牛を放牧する実	証実験を支	鳥獣害対策として、耕作 援した。(1件)		
	久美浜カキ・	魚まつり開催補助金	交付対象事業			ベントを支援する	0 0	水産物の販売促進を図るした。	る久美浜カキ・魚まつり	の開催を支援
	海業振興事業	補助金	交付対象事業	地元で獲れる水 グループを支援		・用方法の研究開発	きを行う住民	地元で獲れる水産物の新した。(1件)	新たな加工品開発に対し	補助金を交付

プロ	ジェクト名	にぎわい創	出プロジェクト	`	実施期間	H23∼H26	テーマ	地域産業の育成	新規・継続の区分	新規
	京丹後サワラ	活用事業	関連事業	消費と特産品化	を進める。	サワラを活用する		京丹後市で豊富に水揚げ 消費と特産品化を推進し	した。	
	産学連携共同	研究等促進事業補助金	交付対象事業	導入による事業	の高度化に取り	⊌品・新商品の開発 リ組む事業者を支援	する。	大学との共同研究により 導入による事業の高度化	比に取り組む事業者を支	援した。
	新分野・ビジネ	ス開拓推進事業補助金	交付対象事業	談会出展を支援	する。	なび新ビジネス開拓		機械金属産業における業 談会出展(4カ所)を支	援した。	
	新事業・ビジ 補助金	ネスマッチング推進事業	交付対象事業			፤業連携及びビジネ ∶のビジネスマッチ		機械金属産業における業 のため、市内企業と外部 件)を支援した。		
	製造·加工業紹	圣 営革新等推進事業補助金		盤強化、販路開 支援する。	拓、異分野へ <i>の</i>	営革新のために実施 D進出などの新たな	事業展開を	市内製造・加工業者が行盤強化、販路開拓、異分支援した。(食品加工1	∱野への進出などの新た 社、織物業1社、機械金	な事業展開を 属1社)
	商工業支援事	業補助金	交付対象事業	みを支援する。		愛、新商品等開発な		起業、空き店舗対策、 みを支援した。(22件)		
	きもの交流会	補助金	交付対象事業	の構築、丹後織	物の魅力発信事	O開発、生産流通ネ ≨業などを支援する) _o	丹後ちりめんを使った親 の構築、丹後織物の魅力	り発信事業などを支援し	た。
	京丹後ちりめん祭補助金		交付対象事業			igするイベント(古 igなど)を支援する		織物産業の活性化のため 展示即売会、きもの大人		
住民	円後ファッションウィーク開催委員会 補助金		交付対象事業	子・和装性地間の建携独化の取り組みに対し又抜りる。				丹後ちりめんの認知度の 学・和装産地間の連携		拓及び産官
協働事業	京丹後きもの	祭補助金	交付対象事業	トに対し支援す	る。			織物産業の活性化のため きもの祭に対し支援した	٤.	
	丹後ちりめん。 ンテスト事業	よさこい衣装デザインコ	関連事業	よさこい踊りの インを公募する	ンを公募する。			よさこい踊りのイベン I インを公募した。		
	シルクのまち	づくり事業	関連事業	シルクにゆかりのある全国の自治体等で組織する協議会においてシルク産業の振興のための活動を行う。				シルクにゆかりのある針いてシルク産業の振興の	りための活動を行った。	
	全国和装産地	市町村協議会事業	関連事業	和装産地の市町 を行う。	村が連携し、和	□装産業の振興を図]るため活動	和装産地の市町村が連携 を行った。	携し、和装産業の振興を	図るため活動
	シルクファッ 催事業	ションフェスティバル開	関連事業	平成23年11月3E ションフェステ			シルクファッ	平成23年11月3日に京都 ファッションフェスティ		てシルク
	広域誘客活動	事業補助金	交付対象事業	市観光協会が実 ム総合ガイドの	施する観光ポス 増刷を支援する	スターの作成及び体 る。	験プログラ	市観光協会が実施する観点総合ガイドの増刷を		体験プログラ
	2011台湾高雄	国際旅展出展事業補助金	交付対象事業	台湾からの誘客 ている観光博覧		⊁として、市観光協 え援する。	るが予定し	台湾からの誘客促進の耳 覧会への出展を支援した		協会の観光博
	中国訪問·PR事	掌業補助金	交付対象事業	本市と友好都市致するため、市	提携を結んでい 観光協会が行う	へる中国亳州市から う中国訪問事業を支	観光客を誘 援する。	本市と友好都市提携を総致するため、市観光協会		
	中国モデルツ	アー招致事業補助金	交付対象事業	市観光協会が実 の招致事業を支		マーゲットとしたモ	:デルツアー	市観光協会が実施する中の招致事業を支援した。		モデルツアー
	観光活性化イ	ベント補助金	交付対象事業		」、ドラゴンカ	コヌー大会、いかり ノトを支援する。	高原まつり	フェスタ「飛天」、ドラなど観光振興に寄与する	ラゴンカヌー大会、いか	り高原まつり
	丹後ウルトラ	マラソン補助金	交付対象事業			マラソン」の開催る	 を支援する。		ルトラマラソン」の開作	崔を支援し

プロシ	ジェクト名	にぎわい創	出プロジェクト	•	実施期間	H23∼H26	テーマ	地域産業の育成	新規・継続の区分	新規
	観光のまちづ	くり推進事業補助金	関連事業	体験事業の充実	等の環境整備を			の実績がなかった。	ちづくりを推進するため	
	観光業等活性	化推進事業補助金	交付対象事業	団体に対し、大	会関係者の宿泊	□寄与する各種大会 ■人数に応じて補助	りする。	会関係者の宿泊人数に	る各種大会を主催する団 応じて補助した。(13大	会)
住民 協働		マ誘致推進協議会負担金	関連事業	活動を行う協議	会(府内6市1町	「等)への負担金		致活動を行った。	ャを主人公としたNHK大河	
事業	金活用事業	整備等促進実行調整費基	関連事業	光地として魅力	ある環境整備を	推進する。		などの観光地として魅	進実行調整費基金を活用 力ある環境整備を行った	0
	京丹後ブラン 営事業補助金	·ドチャレンジショップ運 :	関連事業	る販路拡大の取	り組みを支援す	⁻ る。		よる販路拡大の取り組み	で行う農商工連携や6次層 みを支援した。(会員数	2,065人)
	6次産業支援署	事業補助金	交付対象事業	業化に取り組む	農家等を支援す	⁻ る。		6次産業に意欲のある農 及び新商品の研究・開	∛家等に補助金を交付し、 発の支援を行った。	販路の拡大
	絶景田プロジ	ェクト	関連事業	体験プログラム	を実施する。	民とともに無農薬				
	地域のにぎわ	い創出事業	関連事業	より、情報発信	の強化や月例祭					
	水源の森づくり事業		関連事業	る森づくりをめ	ざす。	の幼木を植樹し、				
	炭を焼いて紅葉を植えようプロジェク ト		関連事業	収益で紅葉の苗	を購入し、植植)森づくりを提案し する。				
	猪・鹿肉活用事業		関連事業	て活用するため	レトルトカレー	vシ・シカの肉を地 -を開発販売する。				
	丹後ECOサイク	ウル事業	関連事業	生する間伐材を	薪として販売す					
住民が 取り組む		新メニュー開発事業	関連事業	志社大学生と住 り組む。	民が地元の魚介	はブランドを生み出 ↑類を使った新商品	品の開発に取			
事業	京のブランド 事業	産品「丹後とり貝」養殖	関連事業	頃の初出荷をめ	ざす。	本格的に開始し、				
	漁協等実践活		関連事業	(藻場) 保全活	動を行う。	動植物の増殖及び				
	WEBサイト「 F 運営事業	予後ものづくり企業ナビ」	関連事業	使ってものづく	りの現場や製品					
	着物水着製作	事業	関連事業	て板場友禅の技 る。	法と丹後ちりめ)水着専門縫製会社)んによる着物水着	を製作す			
	丹後ちりめん	足袋製作事業	関連事業	製作する。		きちりめんを素材と				
	丹後ちりめん	日傘製作事業	関連事業	確立させるため	、丹後ちりめん	きちりめんの新たな)を使った日傘を商	5品化する。			
	丹後和装振興	対策事業	関連事業	丹後地域の織物 化を図るため活	関連団体等 <mark>が連動を行う。</mark>	፱携し、和装産業 <i>の</i>)振興と活性			

プロシ	ジェクト名		にぎわい創	出プロジェク	+	実施期間	H23∼H26	テーマ	地域産業の育成	新規・継続の区分	新規
	豪商稲葉本家 動事業	を拠点とした	と観光誘致活	関連事業	豪商稲葉本家を 動に取り組む。	拠点として、	観光誘致に向けた地	也域活性化活			
	住民が取り組	む遊覧船運行	亍事業	関連事業		遊漁船「とびえ	「うら嶋船」、丹徒 丸タクシー」、久身				
	碇高原にある 畑」の来訪者:		るラベンダー	関連事業	観光名所となり 方に知ってもら		京のラベンダー畑 <i>を</i> を行う。	より多くの			
()	漁業・観光連	携事業		関連事業	提供する。		ューを市内外の方を				
住民が 取り組む 事業	京丹後市国際	会議おもてな	なしの会	関連事業			観光連盟総会で来 ション等によりお				
	環境に配慮し内標識等に関			関連事業			を高める施策の検記 配置について検討し				
	丹後産品集積	活性化事業		関連事業			たグルメ情報検索 勿などを販売する。	サイト「ぐる			
	京丹後産茶の	R丹後産茶の消費拡大に向けたPR活動					ことを機に、茶イン 第2次加工(精選加				
成	成果指標の	目標数値	市内産業にお	ける就業人口	H17 33, 111人-	→H26 増加	成果指標の (平成24年3月		28, 303人		
果 指 標	成果指標の	達成状況	Δ	(左の理由)	人口減少による	0					
1	成果指標の実は、その理由			(理由)					(時期)		
成	成果指標の	成果指標の目標数値 支援企業数 H22 延			件→H24 延べ375件 成果指標の実績値 (平成24年3月31日時点)				延べ468件		
成 果 指 標	成果指標の	達成状況	©	(左の理由)	世界同時不況、	東日本大震災、	タイ洪水の影響も	よほぼ収束しる	で付件数が減少したた	め。	
2		果指標の実績値が更新できない場合 、その理由及び更新時期		(理由)	(時期)						

プロシ	ジェクト名		にぎわい創	出プロジェクト		実施期間	H23∼H26	テーマ	地域産業の育成	新規・継続の区分	新規
成	成果指標の	日標数値	地域雇用創出	数 H22 O人-	→H24 86人		成果指標の (平成24年3月3		62人		
果 指 標	成果指標の	達成状況	0	(左の理由)	就職セミナー、	就職面接会、勍	i職個別相談会など	`各種事業を舅	ミ施し、新規雇用等を創む	出できたため。	
3	成果指標の実は、その理由			(理由)					(時期)		
成	成果指標の)目標数値	職業能力向上	支援者数 H22	延べ95人→H26	延べ500人	成果指標の (平成24年3月3		延べ185人		
果 指 標	成果指標の	達成状況	0	(左の理由)	労働者・求職者	の職業能力支援	是を計画的に行って	いるため。			
4	成果指標の実は、その理由			(理由)					(時期)		
成	成果指標の	成果指標の目標数値 授産施設等 加をめざす			ら一般就労に移	行する人の増	成果指標の (平成24年3月3				
果 指標	成果指標の	成果指標の達成状況 -									
(5)	成果指標の達成状況 成果指標の実績値が更新できない。その理由及び更新時期			(理由)					(時期)		
成	成果指標の)目標数値	農家・漁家民	宿の開業者数	H22 4件→H26	10件	成果指標の (平成24年3月3		9件		
果 指 標	成果指標の	達成状況	0	(左の理由)	都市農村交流を	推進する基盤形	成による。				
6	成果指標の実績値が更新できない場合 は、その理由及び更新時期		(理由)					(時期)			
成	成果指標の	日標数値	久美浜総合交 H26 135,000		入込客数 H22	132, 470人→	成果指標の (平成24年3月3		170, 421人		
果 指 標	成果指標の	成果指標の達成状況 ◎ (左の理由		(左の理由)	道の駅に認定されたことによる。						
7	成果指標の実は、その理由			(理由)					(時期)		

プロシ	ジェクト名		にぎわい創	出プロジェクト	`	実施期間	H23∼H26	テーマ	地域産業	の育成	新規・継続の区分	新規
成	成果指標の)目標数値	担い手育成とす	して認定農業者	ó数(経営体数)	の増加をめざ	成果指標の (平成24年3月3					
果 指 標	成果指標の	達成状況	_	(左の理由)								
8	成果指標の実は、その理由			(理由)					(時期)			
成	成果指標の)目標数値	多収益農産物	や売れる米づく	りをめざす		成果指標の (平成24年3月3					
果 指 標	成果指標の	達成状況	_	(左の理由)								
9	成果指標の実は、その理由			(理由)					(時期)			
成	成果指標の	成果指標の目標数値 森林ボラン			BO人→H26 増加	l	成果指標の (平成24年3月3		87人			
果 指標	成果指標の	成果指標の達成状況 ◎			荒廃が進む森林	を再生させる取	り組みに共感する	市民が増加し	ているため。			
10	成果指標の実は、その理由			(理由)					(時期)			
成	成果指標の	D目標数値	有害鳥獣捕獲	班員数 H22	131人→H26 現丬	犬維持	成果指標の (平成24年3月3		135人			
果 指 標	成果指標の	達成状況	0	(左の理由)	新規班員の勧誘	・育成に力を入	れているため。					
11)	成果指標の実 は、その理由			(理由)					(時期)			
成	成果指標の)目標数値	狩猟期間中の	シカ捕獲数 H	22 507頭→H26	1, 500頭	成果指標の (平成24年3月3		431頭			
果 指 標	成果指標の	達成状況	Δ	(左の理由)	有害鳥獣の捕獲	により個体数が	減少しているため	0				
12)	成果指標の実は、その理由			(理由)					(時期)			

プロシ	ジェクト名		にぎわい創	出プロジェクト		実施期間	H23∼H26	テーマ	地域産業の育り	成 新規・継続の区分	新規
成	成果指標の)目標数値	森林整備面積	の拡大をめざす	-		成果指標の (平成24年3月3				
果 指 標	成果指標の	D達成状況	_	(左の理由)							
13	成果指標の実は、その理由			(理由)					(時期)		
成	成果指標の	D目標数値	有害鳥獣によ	る農業被害額の)減少をめざす		成果指標の (平成24年3月3				
果 指 標	成果指標の)達成状況	_	(左の理由)							
<u>(14)</u>	成果指標の実は、その理由			(理由)					(時期)		
成	成果指標の	D目標数値	小学生魚料理 H26 12校、24		「児童数 H22 8	校、146人→	成果指標の (平成24年3月3		8校、146人		
果 指標	成果指標の)達成状況	0	(左の理由)	地元水産物によ	る魚食普及を図	回るため、昨年同様 記	型教室を開催したこ 関数室を開催したこ	とによる。		
15)	成果指標の実は、その理由			(理由)					(時期)		
成	成果指標の	D目標数値	魚介類を使用	した新商品数	H22 0品→H26	4品	成果指標の (平成24年3月3		1品		
果 指 標	成果指標の	D達成状況	0	(左の理由)	加工品開発によ	り沖きすのふり	りかけを商品化した	ことによる。			
16		成果指標の実績値が更新できない場合 は、その理由及び更新時期		(理由)					(時期)		
成	成果指標の)目標数値	水産イベント	来場者数 H22	約7,000人→H2	6 約8,000人	成果指標の (平成24年3月3		約6,000人		
果 指 標	成果指標の	D達成状況	Δ	(左の理由)	大雨等天候不良	による。					
11)	成果指標の実は、その理由			(理由)					(時期)		

プロシ	ジェクト名		にぎわい創	出プロジェクト	•	実施期間	H23∼H26	テーマ	地域産業の育成	新規・継続の区分	新規	
成	成果指標の)目標数値	クロアワビ養	殖従事者数 H2	22 7人→H26 均	· 曾加	成果指標の (平成24年3月3		7人			
果 指 標	成果指標の	達成状況	0	(左の理由)	平成24年から地	元負担による本	格養殖に移行する	ため。				
18	成果指標の実は、その理由			(理由)					(時期)			
成	成果指標の	目標数値	丹後とり貝の	養殖規模拡大を	·めざす		成果指標の (平成24年3月3					
果 指 標	成果指標の	達成状況	_	(左の理由)								
19	成果指標の実 は、その理由			(理由)					(時期)			
成	成果指標の)目標数値	商業における をめざす	販売力の向上及	び工業における	生産力の向上	成果指標の (平成24年3月3					
果 指標	成果指標の	成果指標の達成状況										
20	成果指標の実は、その理由			(理由)					(時期)			
成 果	成果指標の	目標数値	起業アイデア	利用申込件数	H22 10件→H26	13件	成果指標の実績値 (平成24年3月31日時点)		10件			
指標。	成果指標の	達成状況	0	(左の理由)			:アイデアについて 『業化に結びつかな)ものも含めて利用事業者	皆を募集して市内におけ	る事業化を	
1	成果指標の実 は、その理由			(理由)					(時期)			
成果	成果指標の	目標数値	新規ビジネス	 マッチング数	H22 0件→H26	30件	成果指標の (平成24年3月3		30件			
果 指 標 ?	成果指標の)達成状況	0	(左の理由)	精力的にビジネ	スマッチングに	取り組んだ結果、	延べ64件のマ	件のマッチングを行い30件のマッチングが成立した。			
2	成果指標の実 は、その理由			(理由)					(時期)			

プロシ	ジェクト名		にぎわい創	出プロジェクト	`	実施期間	H23∼H26	テーマ	地域産業	の育成	新規・継続の区分	新規
成 果	成果指標の)目標数値	商談会参加企	業数 H22 O社	_→H26 20社		成果指標の (平成24年3月3		15社			
指 標	成果指標の	達成状況	0	(左の理由)	国内4か所の展え	示商談会への出	展を募り、多くの参	参画が得られ	たため。			
2	成果指標の実は、その理由			(理由)					(時期)			
成 果	成果指標の)目標数値	販路開拓コー	ディネート数	H22 9人→H26	15人	成果指標の (平成24年3月3		9人			
先 指 標 2	成果指標の	達成状況	0	(左の理由)	新商品・新サー	·ビス・新技術の)導入等により販路	開拓を図る』	と業を支援した	ことによる) ₀	
4	成果指標の実 は、その理由			(理由)					(時期)			
	成果指標の	成果指標の目標数値 丹後ちりめん び販売力の向			物業及び関連産	業の生産力及	成果指標の (平成24年3月3					
指標。	成果指標の	成果指標の達成状況										
5	成果指標の実は、その理由			(理由)					(時期)			
	成果指標の)目標数値	展示商談会商	談件数 H22	123件→H26 150	件	成果指標の (平成24年3月3		74件			
指標。	成果指標の	達成状況	Δ	(左の理由)	東京ビッグサイ 件数は減少した		ス大阪などで開催	された大規模	莫な展示商談会	へ積極的に	出展したが、景気の何	氐迷もあり商談
6	成果指標の実 は、その理由			(理由)					(時期)			
成 理	成果指標の)目標数値	丹後ちりめん 加	イベント来場者	f数 H22 15,00	0人→H26 増	成果指標の (平成24年3月3		10,000人			
果 指 標 2	成果指標の)達成状況	Δ	(左の理由)	和装への関心が	低迷しているこ	とによる。					
7				(理由)				**************************************	(時期)			

プロシ	ジェクト名		にぎわい創	出プロジェクト		実施期間	H23∼H26	テーマ	地域産業の育成	新規・継続の区分	新規
成 果	成果指標の)目標数値	観光入込客数	H22 179万人	、→H26 250万人		成果指標の (平成24年3月3		175万人		
指 標	成果指標の	達成状況	Δ	(左の理由)	東日本大震災に	より、全国的に	観光に対する自粛	ムードが高か	いったことによる。		
2 8	成果指標の実は、その理由			(理由)					(時期)		
成果	成果指標の)目標数値	外国人宿泊客	数 H22 1,31 ⁻	7人→H26 5,000	人	成果指標の (平成24年3月3		905人		
指 標	成果指標の	達成状況	Δ	(左の理由)	東日本大震災の	影響による。					
2 9	成果指標の実は、その理由			(理由)					(時期)		
	成果指標の				4人→H26 4,000	人	成果指標の (平成24年3月3		4, 523人		
指 標	成果指標の)達成状況	0	(左の理由)	民間事業者及び	市民団体等が実	ミ施する交流人口 <i>の</i>	拡大に資する	る事業が市内で多く開催す	されたため。	
3	成果指標の実は、その理由			(理由)					(時期)		
成果	成果指標の)目標数値	ウルトラマラ	ソン参加者数	H22 1,963人→	H26 3,000人	成果指標の実績値 (平成24年3月31日時点)		2, 193人		
指標。	成果指標の	達成状況	0	(左の理由)	ウルトラマラソ	ンに対するニー	-ズの高まりと、本	大会への認知	口の定着による。		
1	(保) 3 1 成果指標の実績値が更 は、その理由及び更新			(理由)					(時期)		
成里	成果指標の)目標数値	広域的に連携	し、NHK大河ド	ラマの誘致をめる	<u> </u>	成果指標の (平成24年3月3				
果 指 標。	成果指標の	達成状況	_	(左の理由)				4004004			
3 2	成果指標の実は、その理由			(理由)					(時期)		

プロジェクト名			にぎわい創	出プロジェクト		実施期間	H23∼H26	テーマ	地域産業の育成	新規・継続の区分	新規	
	成果指標の目標数値 京丹後ふるさ			と応援団入団者数 H22 444人		.→H26 1,000	成果指標の実績値 (平成24年3月31日時点)		317人			
	成果指標の達成状況		Δ	(左の理由)	京丹後ふるさと応援団継続更新者数の精査による。			0				
	成果指標の実績値が更新できない場 は、その理由及び更新時期			(理由)					(時期)			
	成果指標の目標数値 100事業者			と応援団協賛事業者数 H22 49事業者→H26			成果指標の実績値 (平成24年3月31日時点) 49事業者					
	成果指標の達成状況 △		(左の理由)	京丹後ふるさと応援団協賛事業者が固定化しているため。								
	成果指標の実績値が更新できない は、その理由及び更新時期			(理由)					(時期)			
成果指標35			6次産業化に取 件	産業化に取り組む農家及び団体数 H22 0件→H26			成果指標の (平成24年3月3		27件			
	成果指標の達成状況 ◎		(左の理由) 農産物を活用した加工品の商品化を支援しているため。									
	成果指標の実績値が更新では、その理由及び更新時期			(理由)					(時期)			
成果指標36			チャレンジシ →H26 2,600		ップ「ホッと丹後」会員数 H22 1,864人			実績値 31日時点)	2, 065人			
	成果指標の達成状況 ◎		0	(左の理由)	常設店舗外での販売も積極的に行い、新規顧客の獲得、丹後ツアーの実施など、丹後の情報 極的に行っているため。					後の情報・魅力を発信する	取り組みを積	
	成果指標の実績値が更新でき は、その理由及び更新時期			(理由)				(時期)				
本年度の事 成果指標の た効果 ※未達成の	D達成に与え											
を記載す		※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。										

団体名:京丹後市

プロジェクト名	にぎわい創出プロジェクト		実施期間	H23∼H26	テーマ	地域産業の育成	新規・継続の区分	新規
	関連事業との連携効果							
	府と市町村等との連携に資する成果							
	住民の自治意識を高める成果	都市部との交流が促進されるなかで、地域外からの情報提供を受けることで、多面的な考え方が醸成され、農山漁村活性 化の意欲向上に繋げることができた。						
本プロジェクトに 対する自己評価	リーディング・モデル成果		推進した。また	と、山陰海岸ジオパ)、新商品の研究・開発、 R地域や各種団体と連携し		
	広域的波及成果			けて、各分野の丹後 進をすることができ		最を総合的に発信したこ <i>も</i>	とで、本市のPRと京丹	}後ブランド産
	行財政改革に資する成果							
	その他の成果	雇用確保、失業	者の増加防止を	上図った。また、技	術や経営手法	とめの助成金を交付するこ 長を再考察し、新分野、新 よど意欲的に取り組み経営	断事業を支援することで	

(記載要領)

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは―を記載すること。